

共同生活の場(学校の寮等)における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて

資料1-5

岩手県新型コロナウイルス感染症
対策第50回本部員会議資料
令和4年2月25日
保健福祉部

今般の感染拡大を踏まえ、共同生活の場（学校の寮等）における新型コロナウイルス感染対策の必要性に鑑み、下記の集団感染を防ぐポイントを踏まえ、ガイドラインを作成します。

共同生活の場（学校の寮等）は、感染拡大のリスクが高く、全国でも多くの集団感染が発生しています。集団感染を防ぐためには、日々の感染予防策の徹底とともに、「感染者の早期把握」、「迅速な感染拡大防止策実施すること」が重要です。あらかじめ「責任者は誰か」「予防の体制」「連絡体制」等、役割やルールを決め、組織的に取り組むことが、感染発生時の迅速な対応につながります。

①感染発生時の連絡・情報共有体制の構築

- ☐ 陽性者（濃厚接触者）・体調不良者が発生した時の連絡体制が決まっていますか？
- ☐ 連絡体制は、入寮者に共有されていますか？

②感染発生時の役割や対応方針の明確化

- ☐ 陽性者が発生した時に、誰が何を対応するか決まっていますか？
- ☐ 事前に、陽性者発生時の対応方針を決めていますか？

③日々の健康管理の徹底

- ☐ 入寮者の日々の健康チェックを行っていますか？誰が行うか決めていますか？

④相談体制の構築

- ☐ 入寮者が健康相談のできる窓口はありますか？

⑤最新の情報に基づく対策を

- ☐ 常に最新の情報を得て、適切な感染予防対策を行っていますか？

参考資料：東京 iCDC 専門家ボード感染制御チーム作成資料

共同生活の場(学校の寮等)で感染者が発生した場合の対応の考え方(フロー図)

